

第2次多古町地域福祉計画（素案）に対するパブリックコメントの
実施結果について

1. 意見募集期間

令和8年2月18日（水）から令和8年3月19日（木）まで

2. 公表場所

- (1) 多古町役場保健福祉課窓口
- (2) 多古町役場総合案内窓口
- (3) 町ホームページ

3. 意見の件数等

- (1) 意見提出者数：1名
- (2) 意見提出件数：3件

4. 意見の要旨と町の考え方

No.	意見の要旨	町の考え方
1	<p><u>データの解釈について</u></p> <p>データの解釈に ChatGPT に代表される AI を利用しているか。データを入れ込むと丁寧かつ正確に専門家に頼むのと変わらない質の高い解析をしてくれるので、利用していない場合は利用したほうが良いと思う。</p> <p>例えば、6ページの「30代前半・40代前半の完全失業率が国や県より高い」のは正しい解釈なのか。全国や千葉県と比べて低いところも高いところもあり、20代、30代、40代としてプロットを打つとほぼ全国や千葉県と変わらなくなる。このデータ解釈を基に議論を始めると「多古町は30代前半・40代前半の完全失業率が高いから頑張っ解決しよう」と不必要な議論が生じてしまう可能性があると感じた。</p>	<p>地域福祉計画の策定にあたり、収集したデータを可能な限り丁寧かつ正確に分析し、多古町の現状把握に努めております。ただし、データの解釈や分析に関しては AI を活用せず、専門的な視点を持つ委託事業者が確認・評価しております。いただいたご指摘のような AI の活用については、データ解析の精度向上に有効である可能性が考えられるため、ご意見を今後の参考にさせていただきます。</p> <p>また、ご指摘いただきました30代前半・40代前半の完全失業率に関する解釈について、本計画では地域特性を把握するために町固有のデータを重視しておりますが、単一のデータが計画全体の方向性を決定づけるものではなく、社会背景や福祉課題の多面的な分析結果を踏まえて内容を策定しております。したがって、現時点で計画内容について修正する予定はございません。ただし、いただいたご意見は、今後の計画策定や評価時の参考情報として活用させていただきます。</p>
2	<p><u>福祉の意識・心の醸成について</u></p> <p>福祉の意識・心の醸成が重要なのは言うまでもないが『高齢者1人を1.4人の生産年齢人口</p>	<p>地域福祉計画の策定にあたり、社会背景や地域特性を十分に考慮し、多古町における取り組みや課題解決の方針を検討してまいりました。</p>

<p>で支える』という状況になった現在は、「自助・互助」では不十分・限界であるというのが出発点ではないか。生産年齢の人は、自分のこと、家族のことで忙しく、地域のこと、さらに地域の社会的弱者のことまでなかなか時間的にも金銭的にもリソースを割く余裕がないのが現状かと思う。</p> <p>「福祉の意識・心の醸成」は依然として重要なので、小学校や中学校でカリキュラム(放課後でも)に取り込み基盤を作る。そして、日本には依然として自分の面倒は自分で(自助)、家族の面倒は家族で(互助)という自己責任論が根強いが、生産年齢の人にはむしろ逆ともいえる「共助・公助」に頼っていいんだよという意識を醸成するのが重要かと思う。言い代えると、冷たいようにも感じるが「家族を老人ホームに入れることに罪悪感を抱く必要はない」ということかと思う。</p> <p>また、そういったことを促進することで、高齢者の多くが老人ホームにいるので、計画書にある老人クラブや地域サロンなどが活性化し、点在する家ではなく高齢者に逢うには老人ホームに行けばいいと導線がシンプルになり、むしろ近所や地域での交流・見守り・地域の助け合い活動といった 22 ページの『一緒に取り組んでいきましょう』が促進すると思う。</p>	<p>いただいたご意見には、現状の生産年齢層の負担やリソースの限界に関する実情、また「福祉の意識・心の醸成」における教育の役割、さらには自助・互助から共助・公助への意識転換の重要性など、多くの示唆が含まれており、非常に参考になる内容であると認識しております。</p> <p>「福祉の意識・心の醸成」を重要な課題として計画に位置付けている理由は、ご指摘のとおり、地域福祉の持続可能性を確保するためには、各世代が負担に囚われることなく、共助・公助の仕組みを柔軟に活用しながら地域全体で支え合う社会の構築が必要であると考えためです。</p> <p>本計画案ではそのような背景も踏まえつつ、現実的な地域福祉の推進に努めてまいります。ただし、本計画は町が取り組むべき方向性を提示するものであり、いただいたご意見に含まれる小中学校での福祉教育の強化、共助・公助の意識醸成、さらには「家族の介護や支援の方法における選択肢の尊重」などについては、町の福祉施策を進める中で今後の検討課題とさせていただきます。</p> <p>お寄せいただいたご意見については、町として慎重に対応し、地域住民の声を最大限に活かしながら福祉計画を進めてまいります。今回の計画案そのものについては現段階では修正を予定しておりませんが、今後の評価や計画改定の際には、大切なお意見として活用させていただきます。</p>
<p>3 <u>AI ロボットの導入について</u></p> <p>交流イベントや、ボランティアといった活動自体は大変良いことだと思う。是非活性化をめざして頑張ってもらいたい。</p> <p>その一方で、人が減るというのが現実。95%以上の人が結婚し、家族で住んでいた昭和の時代はよかったかもしれないが、60%弱の人しか結婚せず、44.9%に上る高齢者の一人暮らしの方を、交流イベントや、ボランティア活動で 24 時間ケアするのは現実的には困難。一人暮らしでな</p>	<p>AI ロボットの活用に関するご提案を頂戴し、深く感謝申し上げます。貴重なご意見を拝読し、孤立防止や負担軽減の視点での新たな公助のあり方について非常に示唆に富む内容であると認識しております。</p> <p>ご指摘のとおり、現代社会では少子化や核家族化が進行し、高齢者のひとり暮らしの増加や老々介護といった問題を背景に、互助がますます困難なものとなっている状況があります。こうした課題に対処するには、公助の重要性に加え、新しいテクノロジーの活用が有力な選択肢</p>

い高齢者も、仕事がある生産年齢の家族では24時間ケアは困難であり、生産年齢でなければ老々介護になってしまう。

長期的な目標として福祉の意識醸成は重要だと思ふし、公助として、直ちに多古町の高齢者すべてを収容できる老人ホーム設立し、さらに日本の慣習に逆らって高齢者のみなさんに老人ホームに入ってもらおうというのも難しい。そこで短期的な目標、新しい公助の形として、「高齢者家庭へのAIロボットの導入」は人手不足である多古町にとって現実的だと思う。

もはや人間とAIが日常会話だけでなく多岐にわたる話題で会話できることは常識になったと思う。AIロボット単体ですべてを解決することは無理だが、孤立の予防、デジタルアクセス支援、軽度リスクの早期把握と言ったことには一定の効果を発揮しそうなものが次々と開発されている。(例えば、BOCCO emoやRoBoHoNなど)

日常的な会話で高齢者の孤独孤立感の解消はもちろん、ロボットの読み上げ機能で日々の体調の確認や、町のイベントなどを通知することもでき、操作は必要かもしれないが何かあった時に支援センターや病院への連絡も取りやすくなると思う。また、ロボットを介して高齢者同士で会話をつなげたり、ボランティアの人などをつなぐことができればより良いと思う。(これらはまだAIロボット単体では実装されていないことが多い。)

多古町が少子高齢化の最前線であり、ニーズに直面しているので、日本をリードして関連企業と支援のためのAIロボット開発に乗り出すことも検討しても良いのではと思う。うまくいくとロールモデルになれる可能性もあると思う。頑張ってもらいたい。期待している。

であると考えております。特に、AIロボットを用いた支援は、高齢者の孤立感を軽減し、デジタル情報へのアクセスを補助することで、地域福祉を新たな形で支える可能性があると考えます。

現在、多古町の地域福祉計画では、人と人とのつながりを基盤とした福祉活動や支援体制の構築に重点を置いております。しかし、人手不足が顕著な現代において、AIロボットを活用した新しいケアの形が重要であると認識しております。例えば、いただいた事例に登場する「BOCCO emo」や「RoBoHoN」といったロボットのように、多様な機能を備えたツールを活用し、会話を通じて孤独感を軽減することや、自動でイベントの通知を行う機能の実装などは、町としても今後検討する価値があると感じております。

また、地域の企業や関連団体と協力し、多古町の福祉現場に適したAIロボットの開発を進めることで、日本全体の福祉関連技術の発展をリードすることも、魅力的な取り組みであると感じています。町が率先して新しい取り組みを実践することで、他自治体にも波及し、福祉分野全体の革新につながる可能性がある点についても貴重なご提案を頂き、大変ありがたく存じます。

現時点ではAIロボット導入に関する具体的な計画はありませんが、いただいたご意見を今後の検討課題として前向きに捉え、技術の進展や町民のニーズを踏まえ慎重に検討してまいります。

多古町の地域福祉が革新的かつ持続可能な形を追求できるよう努めてまいりますので、今後も町の取組に対してご意見をいただければ幸いです。このたびの貴重なご提案に心より感謝申し上げます。